



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月8日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社

上場取引所 東

コード番号 2108 URL <http://www.nitten.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 恵本 司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 八巻 唯史

TEL 03-6414-5522

四半期報告書提出予定日 2019年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	42,109	1.2	301		162	84.1	142	
2018年3月期第3四半期	42,618	1.4	620	62.1	1,025	48.4	582	47.7

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 217百万円 (88.0%) 2018年3月期第3四半期 1,815百万円 (25.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	10.05	
2018年3月期第3四半期	41.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	108,031	67,853	62.8	4,780.96
2018年3月期	99,106	68,260	68.9	4,821.55

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 67,853百万円 2018年3月期 68,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期				50.00	50.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	1.5	1,200	24.3	1,500	24.4	1,100	10.1	77.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	15,325,642 株	2018年3月期	15,325,642 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2019年3月期3Q	1,133,108 株	2018年3月期	1,168,224 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期3Q	14,183,480 株	2018年3月期3Q	14,148,700 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)2018年3月期の自己株式数には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株E S O P信託口)の所有する当社株式が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第2四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年12月31日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続いており、個人消費も緩やかに持ち直しの動きが見られます。海外経済では米国や欧州の景気が回復している一方、米中貿易摩擦や中国経済の失速、英国のEU離脱問題の影響など不安定要素が増しており、先行き不透明な状況が続いております。

砂糖業界におきましては、消費者の低甘味嗜好を背景に、安価な輸入加糖調製品や高甘味度人工甘味料の増加などから砂糖消費量は減少傾向にあり、厳しい状況が依然として続いております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は、砂糖事業の売上が減少したこと等により、前年同期比1.2%減の42,109百万円となり、経常利益は、砂糖事業等の損益の悪化により、前年同期比84.1%減の162百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、ビート用紙筒の不具合による支払補償金を特別損失に計上したことにより142百万円の損失(前年同期は582百万円の利益)となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

<砂糖事業>

砂糖セグメントの売上高は、販売数量は増加しましたが、相場の下落に伴う販売価格の低下により、前年同期比2.2%減の29,430百万円となりました。損益につきましては、採算的に厳しいビート原料糖の販売増加、ビート原料糖のたな卸資産評価損に加え、保管費及び運送費の増加等もあり、1,229百万円のセグメント損失(前年同期は484百万円のセグメント損失)となりました。

<食品事業>

食品セグメントの売上高は、オリゴ糖等機能性食品の売上減少等により前年同期比5.2%減の1,951百万円となり、損益は、設備投資などによる製造原価の増加もあり、7百万円のセグメント損失(前年同期は135百万円のセグメント利益)となりました。

<飼料事業>

飼料セグメントの売上高は、配合飼料の売上増加等により、前年同期比7.6%増の6,777百万円となりましたが、販売費の増加等により、セグメント利益は、前年同期比3.5%減の255百万円となりました。

<農業資材事業>

農業資材セグメントの売上高は、ビート用紙筒の出荷が第4四半期にずれ込んだ影響等により、前年同期比11.7%減の1,771百万円となり、損益は、7百万円のセグメント損失(前年同期は12百万円のセグメント利益)となりました。

<不動産事業>

不動産セグメントの売上高は、前期に取得した物件の寄与により前年同期比7.8%増の1,137百万円となり、セグメント利益は、ほぼ前年同期並の623百万円となりました。

<その他>

その他のセグメントの売上高は、石油類及び書籍の販売減少等により、前年同期比5.8%減の1,041百万円となり、セグメント利益は前年同期比19.0%減の106百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比8,925百万円増の108,031百万円で、このうち流動資産は、主に原材料及び貯蔵品の増加により前連結会計年度末比8,509百万円増の54,809百万円となり、固定資産は、前連結会計年度末比416百万円増の53,222百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比9,332百万円増の40,177百万円で、このうち流動負債は、主に支払手形及び買掛金の増加により前連結会計年度末比9,537百万円増の27,885百万円となり、固定負債は、前連結会計年度末比204百万円減の12,292百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末比406百万円減の67,853百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期にて、砂糖事業の損益の改善、農業資材事業のビート用紙筒等の売上を見込んでおり、また、ビート用紙筒の不具合にかかる保険金等を特別利益に計上する見込みです。

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年8月10日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりませんが、今後修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,578	4,160
受取手形及び売掛金	7,864	5,056
有価証券	7,000	7,000
商品及び製品	19,081	19,238
仕掛品	4,519	4,119
原材料及び貯蔵品	2,175	8,767
その他	1,082	6,469
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	46,300	54,809
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,483	12,272
その他（純額）	13,856	13,136
有形固定資産合計	25,340	25,408
無形固定資産		
	271	271
投資その他の資産		
投資有価証券	25,266	25,878
退職給付に係る資産	1,113	1,162
その他	817	508
貸倒引当金	△4	△8
投資その他の資産合計	27,193	27,541
固定資産合計	52,805	53,222
資産合計	99,106	108,031

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,451	4,716
短期借入金	11,752	13,252
未払法人税等	186	65
その他	4,958	9,851
流動負債合計	18,348	27,885
固定負債		
長期借入金	221	248
役員退職慰労引当金	18	14
退職給付に係る負債	4,779	4,897
その他	7,476	7,131
固定負債合計	12,496	12,292
負債合計	30,845	40,177
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,409	8,420
利益剰余金	41,908	41,058
自己株式	△2,421	△2,348
株主資本合計	56,176	55,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,870	12,269
繰延ヘッジ損益	△0	△1
退職給付に係る調整累計額	214	176
その他の包括利益累計額合計	12,084	12,444
純資産合計	68,260	67,853
負債純資産合計	99,106	108,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	42,618	42,109
売上原価	32,087	31,935
売上総利益	10,530	10,174
販売費及び一般管理費		
販売費	7,704	8,275
一般管理費	2,205	2,201
販売費及び一般管理費合計	9,910	10,476
営業利益又は営業損失(△)	620	△301
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	460	520
持分法による投資利益	37	23
その他	92	59
営業外収益合計	597	609
営業外費用		
支払利息	63	69
固定資産処分損	109	52
その他	19	21
営業外費用合計	192	144
経常利益	1,025	162
特別利益		
固定資産売却益	9	122
投資有価証券売却益	-	6
その他	-	3
特別利益合計	9	132
特別損失		
固定資産処分損	47	54
支払補償金	-	359
減損損失	66	-
投資有価証券評価損	27	-
その他	-	0
特別損失合計	141	414
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	893	△119
法人税等	311	23
四半期純利益又は四半期純損失(△)	582	△142
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	582	△142

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	582	△142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,222	398
繰延ヘッジ損益	1	△0
退職給付に係る調整額	8	△37
その他の包括利益合計	1,233	360
四半期包括利益	1,815	217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,815	217
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(会計上の見積りの変更)

退職給付に係る会計処理において、従来、数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理年数は15年としておりましたが、従業員の平均残存勤務期間が短縮したため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を14年に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ11百万円減少し、経常利益は11百万円増加しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	30,092	2,058	6,301	2,006	1,055	41,513	1,104	42,618
セグメント間の内部 売上高又は振替高	133	25	11	38	82	291	6,402	6,693
計	30,225	2,083	6,313	2,044	1,137	41,804	7,506	49,311
セグメント利益 又は損失(△)	△484	135	264	12	618	547	131	678

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	547
「その他」の区分の利益又は損失（△）	131
セグメント間取引消去	△57
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	620

II 当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	29,430	1,951	6,777	1,771	1,137	41,068	1,041	42,109
セグメント間の内部 売上高又は振替高	128	25	12	30	87	284	7,320	7,605
計	29,559	1,976	6,790	1,802	1,225	41,353	8,361	49,715
セグメント利益 又は損失（△）	△1,229	△7	255	△7	623	△366	106	△260

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	△366
「その他」の区分の利益又は損失（△）	106
セグメント間取引消去	△42
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失（△）	△301

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更に記載の通り、第1四半期連結会計期間より退職給付に係る会計処理において数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理年数を変更したことに伴い、事業セグメントも同様に費用処理年数を変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響は、「砂糖」はセグメント損失が7百万円減少、「飼料」はセグメント利益が1百万円増加、「農業資材」はセグメント損失が1百万円減少しております。